

6 Artist File

Kameha, Percussion Duo



© ayane shindo

カメハ

(かめは)

●ジャンル

パーカッションデュオ

●所属マネジメント

株式会社ノジリスタジオ

〒332-0011

埼玉県川口市

TEL : 048-222-4293 FAX : 048-224-8280

E-mail : nojiri.studio@gmail.com

■担当マネージャー

野尻 小矢佳

●アーティスト在住地

埼玉上尾市

●アーティスト出身地

[永野 雅晴] 愛媛県松山市

[永野 仁美] 東京都中野区

プロフィール

2017年結成、デビューライブを行う。

現代音楽コンクール「競楽」本選出場、Percussive Arts Contest 第2位

永野 雅晴 Masaharu NAGANO

愛媛県出身。東京藝術大学院修了。

東京藝術大学卒業時に同声会賞受賞。その年の同声会新人演奏会に出演。

2016年イタリア国際打楽器コンクール、スネアドラムB部門最高位、2022年イタリア国際打楽器コンクール、スネアドラムC部門2位。第12回現代音楽コンクール「競楽」において、審査委員特別奨励賞を受賞。林英哲風雲の会としてヨーロッパツアーに参加。祝祭大劇場や楽友協会、またベルリンフィルハーモニーなど、12ヶ所でソリストとして和太鼓を演奏する。また、同じくソリストとして群馬交響楽団と共演。

「竜とそばかすの姫」他、数々の劇伴のレコーディングに参加。

パーカッションデュオ「カメハ」、パーカッションアンサンブルグループ「りずむふあーむ」メンバー。

永野 仁美 Hitomi NAGANO

東京都出身。3歳よりピアノ、13歳より打楽器を始める。私立吉祥女子中学・高等学校を経て、東京藝術大学卒業、同大学院修了時に大学院アカンサス音楽賞を受賞。

2007年、第12回KOBE国際学生音楽コンクール奨励賞受賞。2012年、第7回安倍圭子国際マリンバアカデミーを受講、選抜者によるプレミアムコンサートに出演。2012-2014年、東京藝術大学内においてオーディション選考による室内楽定期演奏会及び木曜コンサートに出演（打楽器三重奏として）。2014年、万里の長城杯入賞。2016年および2020年、現代音楽コンクール「競楽」ファイナリスト。

多数の新曲初演を始め、ソロ、アンサンブル、演劇、レコーディングやライブなどさまざまな形態・ジャンルで演奏活動を行う他、訪問演奏や音楽教室、吹奏楽部の指導、音楽療法のアシストなど、教育や福祉に関わる音楽活動を精力的に行う。

パーカッションデュオ「カメハ」、パーカッションアンサンブルグループ「りずむふあーむ」、ピアノ・フルート・チェロ・打楽器のカルテット「The Circle」メンバー。

<https://naganomasaharu.com>

自己アピール

私たち「カメハ」は、東京藝術大学の同級生から夫婦となり、音楽活動を共にするだけでなく、たくさんの人生経験を共有してきました。

大学では2人ともアウトリーチの授業を選択していたこともあり、在学時より学校や施設などでの演奏経験を積んでまいりました。卒業してからも鑑賞教室をメインとして活動するグループに所属するなど、教育現場での演奏活動に数多く携わっています。そんな中子供が産まれてからは、より「広く音楽を届ける」ということに意識を向けるようになりました。

また、大学院で学んだ音楽療法をアウトリーチに取り入れ、対象者に寄り添ったプログラムを心がけています。具体的には、

- ・「対象者理解」のために実施前のヒアリングを丁寧に行う
- ・プログラムの中に緩急をつけ、参加曲目に入りやすくしたり、クールダウンを考慮した構成にする
- ・実施終了後に関係者（学校なら教職員など）と一緒にふりかえりを行う

などのプロセスをアウトリーチでも大切にしています。

こういった活動をする中で大切にしているのは「コンサート会場に足を運ぶことが難しい人、機会がない人に音楽のワクワクを伝えたい」という思いです。私たちが演奏している打楽器は特に、子供の時から多くの人が身近に感じる楽器でもあり、また音の出る瞬間が見た目にも分かりやすい楽器です。それでも、普段はあまり主役にならないので、「打楽器だけのコンサート」に足を運ぶ機会はなかなか無いと思います。そんな打楽器の演奏を間近で観て、聴いてもらい、一緒に参加してもらう。アウトリーチを通して、音楽を聴く楽しさを感じてもらいたいのはもちろんですが、自己表現の材料の一つにでももらえたり、また心がほんの少しでも揺れ動く経験になれば、とても嬉しく思います。

付き合いの長い2人だからできる息の合った演奏やトークで、たくさんの人と楽しい時間を過ごせるよう、精一杯取り組んでまいります。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

導入から終わりまでどのように気持ちを持っていくか、どう感じて欲しいか、ということを考えながらプログラムを構成します。大きな枠組みとしては以下のような形を定型にしています。

【つかみ】

派手な太鼓の曲で華々しく始まる時があれば、大きな音が苦手な方が多いような現場では逆に小物楽器のアンサンブルやソロで始める場合もあります。

【楽器紹介】

身近な打楽器、例えばタンバリンやトライアングルなど、子供の時に見たり触ったりしたことがあるような楽器を使って、あまり知られていない一面を引き出すようなオリジナル曲を演奏します。

【参加コーナー】

手拍子や手作り楽器など、その場に応じた参加方法と一緒に音楽を作り上げます。この前にボディパーカッションの曲を演奏したり盛り上がる曲で手拍子を入れてもらうなど、参加コーナーに入りやすくなるような流れを作ります。

簡単なリズムアンサンブルをしたり、曲に合わせて楽器を鳴らしたり、グループワークで発表し合ったり、さまざまなパターンを考えています。

【クールダウン】

参加コーナーの後にクールダウンを設けることで、再び演奏を聴く気持ちになるようにしています。発散とリラクスのバランスを取れるよう心がけています。

【フィナーレ】

どのような気持ちで帰ってもらいたいのか、どのような気持ち、学びを残すことを目的にしているかによって最終曲目を決めます。

普段はこのような枠でプログラムを考えています。

演奏曲目は、打楽器オリジナル曲、クラシックなどのアレンジ、自作曲、アニメやポップスなど幅広いジャンルを取り揃えています。

本事業でももちろんこの枠組みを参考としつつ、新しい試みをどんどん取り入れていきたいと思っています。特に、これまで行ったことのない場所、演奏したことのない環境へ赴くことがあると思います。その際には、思い切ったクラッシュアンドビルドを厭わずに、人とのやり取りの中で生まれたアイデアを大切にしていきたいと考えています。

演奏可能プログラム

【クラシック】

E・サティ：ジュ・トゥ・ヴ
C・ドビュッシー：アラベスク第1番、亜麻色の髪の乙女
F・ショパン編L・ゴドフスキー：子犬のワルツ

【小物楽器フューチャー】

永野雅晴：ダブル（小太鼓デュオ）
永野雅晴：ブー（小太鼓デュオ）
永野雅晴：タンブロック（タンバリンとウッドブロックのデュオ）
永野雅晴：ヘヴィーベッカー（タンバリンとカホンのデュオ）
永野雅晴：コスモス（トライアングルのデュオ）

永野雅晴：ハンドシェイク（ボディパーカッションのデュオ）
永野雅晴：スピットファイア（マルチパーカッションのデュオ）

【鍵盤打楽器オリジナル】

E・セゾルネ：ハムシン
M・テイラー：ラプソディー
I・トレヴィノ：2 + 1

【和太鼓】

永野雅晴：雨過天晴
水野修孝：鼓動